

令和7年8月定例会会議録

大崎町教育委員会

○日 時 令和7年8月26日(火)
15時35分から17時36分まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	穂園 正幸
教育長職務代理者	溝口 信男
教育委員	二見 いすず
教育委員	小野 まゆみ
教育委員	吉岡 克倫

○関係者

管理課長	相星 永悟
社会教育課長	西竹 信也
管理課庶務係長	西竹 きくみ

○議事日程

1 開会

2 前回会議録の承認

3 委員の報告

4 教育長行政報告

5 報告

報告第 29 号	区域外就学について
報告第 30 号	後援承諾について（サッカーフェスティバル）
報告第 31 号	後援承諾について（アルティメット）
報告第 32 号	後援承諾について（ウォーターバトル）
報告第 33 号	後援承諾について（本の世界を冒険）
報告第 34 号	後援承諾について（子どもの権利条約）

6 議事

議案第 8 号	大崎町教育委員会外部評価報告書について
議案第 9 号	大崎町立学校教育交流事業実行委員会規約の制定について
議案第 10 号	大崎町総合体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

7 委員から提出された動議の討論等

8 その他

9 翌月の行事等

10 閉会

○会議要旨	
1	開会
教育長	ただいまから，８月定例会を始めます。
2	前回会議録の承認
教育長	異議なく承認
3	委員の報告
溝口委員	８月１日開催の「県市町村教育委員会研修会」は家族共々コロナ感染のため参加を見送り，ご迷惑をおかけしました。すみませんでした。 ８月２１日～２２日は曾於地区教育協議会管外研修として，長崎県大村市で開催された「九州地区市町村教育委員会研修大会」に２市１町で総勢１６名が参加しました。当日は主催者挨拶や来賓祝辞のあと，行政説明がスポーツ庁スポーツ戦略官吉田慶太氏から「社会の変化を踏まえた教育施策の推進について」と題して講話がありました。人口構造の変化，一人１台端末，コミュニティスクール，ウェルビーイング，部活動地域展開や地域連携への改革など未来を担う子供たちや学校現場が直面する現状の課題や展望等の概論の話でした。 次に記念講演として吹奏楽部の国内第一人者として知られ，精華女子高吹奏楽部を全国レベルの強豪校に育てられ，数々の主要な役員に付かれて活動されている，藤重佳久氏の講話がありました。冒頭，生徒や子ども達の演奏をたたえる会場の観客の拍手の仕方やマナーについて実演と練習があり勉強になりました。音楽には地域を元気にする力があることや音楽を通して教育の機会となり何もかもが良くなると。指導者の根本の理念は認める，褒める，励ますに心がけて生徒達や子ども達が自主的に活動できるようになることを求める指導を行い，すぐに生徒一人一人にリーダーシップが芽生え活き活きと演奏するように上達した。特にできない子供を主体に指導するようにされていて生徒の個性が一人一人違うので能力をどのように引き出しか追及したり，指導者も自己研鑽が必要で海外に行ったり充電する時間をとっていると話されていました。藤重先生の講話は学校現場は勿論あらゆる職域でも人材育成に参考になるとても有意義な記念講演でした。

	8月24日（日）は「持留小学校 PTA 奉仕作業」があり参加しました。作業時間 30 分間という短い時間でありましたが、地域の方も多数出席されてほぼ予定通り、怪我も無く終わりました。 8月24日（日）午後2時から曾於保護区保護司会主催，AS 100 人会（薬物依存症からの回復を支援する会）共催の講演会に出席しました。「人に寄り添うことばの力」と題して，志布志市教委学校教育専門官，公認心理士武隈順子氏の講話でした。人に寄り添うっていう意味，偏桃体と前頭前野，メラビアン の法則についての解説のあと，状況に応じて実際にどんな寄り添う言葉がいいのかグループに分かれて，例題に沿ってロールプレイングしましたが，寄り添う言葉の掛け方次第では逆効果に繋がるので難しいなあと感じたところでした。 8月25日（月）は保健福祉課所管の「民生委員推薦会」に出席しました。町内民生委員の任期満了となることから再任と新任の推薦会でしたが，人口減と高齢化に伴い民生委員の担い手不足が深刻化している状況との説明があり，欠員の生じている地区ではどのように対応しているのか，今後は集落の統廃合を含めてどのようにするのかなどの質問が出されて，今後の課題となったところでした。 以上です。
二見委員	申し訳ありません。私は今回特段ご報告することがありません。ただ，今日小山先生の講話をセットさせていただいてほんとにありがたかったです。 ありがとうございました。
小野委員	8月1日，市町村教育委員会研修会に参加させていただきました。 ヤングケアラーについて私は重度障害を持つ家族の世話をしている子のことだと思っていたんですけども，幼い兄弟の世話，母子家庭での家事全般を担う，親の仕事を手伝うなど範囲が広く，それによって学業不振，体調不良，不登校などにつながることに驚きました。大崎町にはどのくらいのヤングケアラーがいるのかなと，先生方は把握しているのかなっていうのが気になったところでした。 次に，文化財の保存，活用についてグループ協議をいたしました。どの市町村も少子高齢化により保存，継承が難しい中，地域と学校が手を取り合って進めて組織づくりを強化すること

吉岡委員	が大切であると皆さんおっしゃっていました。 また、年寄りが子どもたちに指導することの難しさもあるとおっしゃっていました。昔のように教えると、親の方々がちょっと不服を言われて、子どもたちを連れて途中で帰ったりってということもあるってということをおっしゃっていました。そういうことから継承ってというのは難しいんだなっていうのを感じたところです。 8月21日22日、長崎で開催されました九州地区市町村教育委員会研修会に参加させていただきました。毎年吹奏楽マーチングで全国大会に出場されていた重藤先生のお話を聞いて、指導者の大切さ、子供たちは指導者でどうにでもなると感じたところです。下手なバンドはない、下手な指導者はいる。リベラルアーツ教育・生きる力を与える音楽で人を育てる。腐った材料でおいしい料理はできないでしょ。ゴエス・整理整頓・清掃・しつけの大切さ。指導者たるもの、生き生きすることが大切。私たちがひきつけられるように子供たちも引き付けられる。引きつけるものを持たれている先生ではないかなと感じるところでした。2日目は朝、曾於市・志布志市の方と出島に視察に行って、成り立ちなどを見て、長崎スタジアムも素晴らしい施設ができていました。 また、8月4日と26日、中沖小と持留小の先生が企業研修でうちの会社に来られました。先生方が地域に溶け込んで、福祉・企業・ボランティア等の地域貢献活動を実施することで学校教育以外の社会を知り視野が広がるのではないかと思います。二人とも礼儀正しくまじめに取り組んでいただきました。 以上です。 お疲れさまです。皆さんとちょっと重複する部分があるんですけど、8月1日に市町村教育委員会研修会に参加いたしました。初めに学校職員の服務規律・生徒指導の充実・部活動の改革推進について説明があり、これらを進めることにより、学校全体の教育環境をより良いものにしていく、子供たちにとって有益な学びの場を提供することにつながると感じました。そのあとにヤングケアラーについて講演がありました。先ほどありましたように私もヤングケアラーというのがこんなに身近なものだったのかと感じたところです。私が考えていたものは、病気や障害のある家族がいる方たちだけでしたが、幼い子供、兄弟の世話をする、食材の買い物など親が担うところを子供がするそういうものも該当するということでした。県内でも、小学
------	--

6年生の10人に1人、中学生でも17人に1人、高校生にも26人に1人がそういう対象になっているということでした。学校生活を送りながら、そういうことを半数以上がほぼ毎日しているという状況でそれぞれ子供の家庭の状況とかあると思うんですけど子供たちが一人で背負わずに社会全体で支えることがこれからは大切なのかなと思いました。最後に文化財の保存・活用についての説明があり、各市町村ごとにグループ協議があったんですけど、どこの市町村も少子高齢化により伝統芸能の継承が難しいということでした。担い手もおらず、存続が難しいところの中でデータベース化して残していくという市町村もありました。

8月21日・22日、九州地区の市町村教育委員会研修大会に参加しました。長崎市長のあいさつの中で長崎市は人口が増えており、いろんな収入もありそれを教育のほうに還元できているという話があったので、大崎町もふるさと納税で今していることが続けていけたらと思っております。また、記念講演がありその話の内容で、指導者が元気で笑顔でいないと指導を受ける方も楽しくないと言われていまして、教育現場でも先生たちがそういう気持ち、そういう表情じゃないと子供たちも楽しくないのかなという感じを受けました。その中でも、ちゃんとマナーを守る、ルールをしっかり守って楽しむっていうのが一番で、私も職場で指導する立場でもあるのでそれが通ずるものがあると思ったところでした。また、子供たちに教える前に感情を高めるために「いのちの歌」という歌を歌ってましてそれで子供たちの心が安定すると言われてました。マーチング、吹奏楽は集中力が大事で、集中力を鍛えるためにたくさん練習する。でも、本番は一回しかない、一回は失敗できない、そのプレッシャーに打ち勝つためにも、日ごろからそういう心を整えて本番に臨むっていうことをされている。今の教育現場でも取り入れてもいいのかなと思ったところでした。そして、懇親会では志布志市・曾於市の方とも話ができて、今後もまたいい繋がりができるのかなと思っております。次の日は長崎スタジアムを見学させていただいたんですけど、地域の方も利用しやすいような環境を作られてて、鹿児島にもなにか一つ出来たらもっと盛り上がるのかなと思ったところでした。

8月24日野方小学校の愛校作業に参加しました。私が総務部長をしていることもあり指揮をとりながらやっていたのですが、小学校に乗用の草払い機が入ったということもあって、助かっていたのかなと思います。

	あと、8月30日に野方のグラウンドで公民分館の祭りが開催されますので、皆様も時間があればお越しいただければと思います。よろしくお願いします。 以上です。
4	教育長行政報告
教育長	※資料に基づき報告 4日 県教育長会合同委員会 学力アップセミナー 6日 県教育委員会業務 7日 多様化分教室等視察（延岡市，産山村）～8日 10日 七夕さあ祭り 12日 県教育委員会業務 13日 学校閉庁（～15日）9月補正町長査定 19日 東川町青少年交流事業（～21日） 22日 県町村教育長研修会（事例発表）・情報交換会 24日 中沖夏祭り（中止） 25日 民生委員推薦委員会 26日 分館長会 総合教育会議 教育委員会定例会 27日 教育事務所会議 課長会 帰国報告会 28日 町教職員人権教育研修会 29日 管理職等合同研修会 30日 野方ふれあいふるさと祭り 31日 県民文化フェスタ in おおすみ 8月の主な行政報告は以上です。
5	報告
管理課長 社会教育課長	報告第29号 区域外就学について 報告第30号 後援承諾について（サッカーフェスティバル） 報告第31号 後援承諾について（アルティメット） 報告第32号 後援承諾について（ウォーターバトル） 報告第33号 後援承諾について（本の世界を冒険探検） 報告第34号 後援承諾について（子どもの権利条約）

6	議事
管理課長	議案第8号 大崎町教育委員会外部評価報告書について 議案第9号 大崎町立学校教育交流事業実行委員会規約の制定について 議案第10号 大崎町総合体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
7	委員から提出された動議の討論等
教育長	発言がないので動議はないものとします。
8	その他
二見委員	給食についてですが、本当にいろんなものが高くなってきていて、栄養の教員もカロリーを満たすのに大変苦勞されているのではないかと思っているんですけど、そのあたりの苦勞が無償化になって大崎町はうらやましがられてはいるのですが、継続可能なのかどうか心配になってお伺いしたいんですけど。
管理課長	この4月から、もちろん無償化にはなっているですけども、給食費を値上げしております。中学校は6,700円小学校は5,600円、約1,100円ぐらいあげております。本来なら保護者の方にも金額が上がりますと事前に周知するんですけども、無償化になっておりますので予算を獲得するというところで確保してあるところでございます。
小野委員	さきほどありましたヤングケアラーについてですが、大崎町はどういう状況か把握されているのでしょうか。
教育長	ヤングケアラーについてですが、以前議会でも質問等も出されて保健福祉課が対応されたんですけど、具体的な把握の仕方が非常に難しいところです。保健福祉課と学校と共有して支援していかなければいけないところなので、困り感がある子にどう手を差し伸べていくかという大事なことでと思いますので、その辺も含めて、次回の時にでもお知らせしたいと思います。

9	翌月の行事等
管理課長	9月1日から9月30日までの行事を資料に基づき報告
10	閉会
教育長	以上で、8月定例会を終了いたします。 以上